

平成25年度 第3回大和市文化芸術振興審議会 会議要旨

1. 日 時 平成25年11月26日(火) 午前10時00分～午後12時00分
2. 場 所 大和市役所 会議室棟101会議室
3. 出席状況 委員9名(欠席1名)
事務局6名(文化スポーツ部長ほか5名)
4. 傍聴人 なし
5. 議 題
 - 1 開会
 - 2 報告事項
 - (1) 第1期計画の振り返りと第2期計画に向けた課題・方向性の整理について
 - (2) 文化芸術活動に関するアンケート調査集計結果について
 - 3 審議・検討事項
 - (1) 第2期文化芸術振興基本計画について
 - 4 その他
6. 会議資料
 - 第1期計画の振り返りと第2期計画に向けた課題・方向性の整理
 - 平成25年度 文化芸術活動に関するアンケート調査 集計結果報告
 - 大和市文化芸術振興基本計画(第2期)(たたき台)
 - 大和駅東側第4地区公益施設整備スケジュール
 - 大和駅東側第4地区公益施設核施設運営計画(案)の位置づけ
 - 大和市芸術文化ホール運営計画(素案)骨子

【会議要旨】

- 1 開会
- 2 報告事項
 - (1) 第1期計画の振り返りと第2期計画に向けた課題・方向性の整理について
 - 市から、「第1期計画の振り返りと第2期計画に向けた課題・方向性の整理」について説明。
 - 委 員：「市によるメンバー確保のための支援」が課題として挙げられているが、人材確保のための活動も含め生涯学習であり、各自で取り組むべきことだと考える。
 - また、活動をPRする際にすぐ学校を頼ることに疑問を感じている。
 - 市は、団体への支援について基準を明確にすべきと思う。異動等により組織、担当者が変わることによって団体への対応が異なってしまうことは避けなければならない。
 - 委 員：団体へのアンケートについて、どのような目的で実施するかによって設問を設定すべきである。資料に記載されている「人材確保」、「資金確保」に関することは、大和市に限らず、どの自治体でも課題として挙げられている。約300存在する団体の要望を全て吸い上げていくことは困難である。どうしても市が関わるべきものだけ支援するべきである。
 - 事務局：今後は、団体へのヒアリングを行いながら、望ましい支援のあり方を検討していきたい。

(2) 文化芸術活動に関するアンケート調査集計結果について

○市から、「平成25年度 文化芸術活動に関するアンケート調査 集計結果報告」について説明。

委員：「活動上の課題について」について、民間ホール・ギャラリー等は57%が「特に課題がない」と回答している。課題がないとはどのようなことなのか。

事務局：アンケートの内容（設問）が民間ホール・ギャラリー向けでなかったことが要因の一つと推測できる。

委員：民間ホール・ギャラリーは、市の文化芸術振興のために意識の高い方が自費で運営している。アンケートの設問にある項目は、課題として捉えていないということだと思う。

委員：分母（団体数）が少ないので、%にとられない方が良いと考える。

委員：「活動内容PRの工夫」について、広報やまとはどの団体も必ず情報を掲載できる訳ではない。タウン誌は掲載にお金がかかる。団体は自らPR誌（冊子）を制作するなど、積極的に活動を周知することも考えていかなければならないと考える。

委員：広報やまについて、熱心な団体は何度も掲載依頼をするが、掲載制限が設けられている。タウン誌は紙面が空いている月は無料で掲載できることもあるが、10月、11月は希望者が多く掲載が難しい。フェイスブックやYouTube等を活用してのPRは効果が高いと考える。お客様が「行きたい！」と思ってもらえるように工夫することが必要である。

会長：大和市のホームページから各団体のホームページをリンクすることはできないのか。

事務局：既に実施しているが、階層が深くあまり知られていない。今後の課題である。

委員：市のホームページにリンクを貼ることについては、悪用されることもリスクとして考えられるため、注意しなければならない。

団体活動のPRについては、基本は各自行うべきと考える。ただし、市はその手法（フェイスブックの活用方法等）についてアドバイスしてあげることが必要である。

委員：すぐに市に頼るのではなく、まずは自らが考え、行動することが重要。タウン誌に情報掲載することや人脈を活用しPRを行う等、草の根活動から始めていき努力を積み重ねていくことが必要と考える。

委員：「団体活動の現状把握」がアンケートの趣旨であることを明確にしておけば良かったのではと考える。

3 審議・検討事項

(1) 第2期文化芸術振興基本計画について

○市から、「大和市文化芸術振興基本計画（第2期）（たたき台）」について説明。

会長：「アウトリーチ」などの横文字の用語はわかりやすく記載すべきである。

委員：「アーティストバンク」の用語の印象が良くない。変更を検討してもらいたい。

委員：各分野まで網羅されており素晴らしいと感じるが、同時に進めていくことは、予算、職員の体制等を考えると実現は困難なのではと感じる。どのような道筋で進めていくのかを示す必要があると考える。

事務局：予算が未確定のため、具体的なスケジュールを示すことは困難であるが、今後、5年間の取り組みをイメージしながら進めていくことは必要であると感じている。

予算については、まず、市の総合計画（実施計画）に位置づける必要があるが、そのためには、第2期計画に施策の考え方や方向性をしっかりと位置づけしていくことが重要と考える。

委員：重点施策の選定や優先順位を設けて進めていくべきと考える。市がすべて背負う必要はない。文化芸術連合会に一部を担ってもらうことも必要。具体的活用について考えていくことが重要である。

委員：実施にはかなりの予算、マンパワーが必要と感じる。

愛知県知立市では、文化ホールのボランティアとして、高校生位の若い世代とその親の世代の登用を行い定着してきている。親子間のコミュニケーションの手助けにもなっている。暮らしの中に文化芸術を広める手段として良い例である。

また市内には、定年後、元気に活動している方も多くいると思う。若い世代だけでなく、こうした方々の力も借りながら、取り組みを進めていくことが重要と思う。

委員：「施策目標 2 地域の文化を大切に守り、次代につなぐ」について、地域に存在する歴史的資源は、生活に溶け込んでいる。無意識に日常的に触れているが認識はされていない状況である。市やコーディネーター（ガイドスタッフボランティア）が熱意を持ち、粘り強く地域の文化を伝える場や機会を持つことが重要である。

4 その他

○市から、「大和駅東側第4地区公益施設整備スケジュール」、「大和駅東側第4地区公益施設核施設運営計画（案）の位置づけ」、「大和市芸術文化ホール運営計画（素案）骨子」について説明。

委員：職員の配置人数はどうなっているのか。

資料「大和市芸術文化ホール運営計画（素案）骨子」P20にある収支計画は、芸術文化ホールのための金額か。

事務局：職員の配置人数は、現段階でははっきりしない。収支計画は、芸術文化ホールのための金額である。

委員：指定管理者は一業者なのか。

事務局：共同企業体を想定している。

○今後の開催については、第4回を12月24日（火）10：00から大和市役所 第5会議室で開催する予定である。後日通知する。